



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 日本石油輸送株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9074 URL http://www.jot.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)森田 公生
 問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員総務部長 (氏名)戸井田俊明 (TEL)03(5496)7671
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 平成24年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	14,316	△4.4	149	481.0	300	117.1	233	138.9
24年3月期第2四半期	14,969	3.4	25	△92.0	138	△66.6	97	△29.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △132百万円(—%) 24年3月期第2四半期 △337百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
25年3月期第2四半期	円 銭 7.05	円 銭 —
24年3月期第2四半期	円 銭 2.95	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	25,911	15,020	58.0
24年3月期	27,708	15,285	55.2

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 15,020百万円 24年3月期 15,285百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
25年3月期	—	3.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	4.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	△7.4	700	△9.0	850	△10.2	600	122.2	18.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	33,229,350株	24年3月期	33,229,350株
25年3月期2Q	128,457株	24年3月期	127,707株
25年3月期2Q	33,101,268株	24年3月期2Q	33,102,372株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	6
4. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等により緩やかな回復傾向にあるものの、欧州政府債務危機を背景とした海外経済の減速や円高等の問題もあり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く物流業界におきましては、生産の回復や前年度における大幅減の反動があるものの、国内貨物輸送数量は依然として低い水準にあります。

このような状況のもと、当社グループは、顧客から信頼され選択される物流パートナーとして、安全で高品質な輸送の提供に努めるなか、鉄道輸送および自動車輸送をもつ企業グループの強みをさらに生かすべく、営業部門の組織改定を実施したほか、新しい輸送容器や新規事業の開発に積極的に取り組んでまいりました。なお、震災の影響のため、郡山・盛岡向けの石油製品の鉄道タンク車輸送は関東地区から行っておりましたが、復旧工事が完了し、平成24年9月7日より、震災前と同様に仙台地区からの輸送を再開いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は14,316百万円（前年同期比4.4%減）となりましたが、経費削減に努めた結果、営業利益は149百万円（同481.0%増）、経常利益は300百万円（同117.1%増）、四半期純利益は233百万円（同138.9%増）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

石油輸送事業

石油輸送事業につきましては、低燃費車の普及、燃料転換の進展等による石油製品需要の長期的な減退傾向が続いていることに加え、製油所・油槽所の閉鎖の影響を大きく受けたため、輸送数量は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は7,473百万円（前年同期比9.3%減）となりました。

高圧ガス輸送事業

高圧ガス輸送事業につきましては、民生用における都市ガス原料用の輸送が冷暖房需要の増加により堅調に推移したものの、産業用において、夏場以降、自家発電や工場の稼働率低下による需要減の影響を受け、LNG（液化天然ガス）の輸送数量は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は3,361百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

化成品・コンテナ輸送事業

化成品輸送事業につきましては、石油化学会社・製紙会社等の生産活動の回復に加え、積極的な営業活動による新規顧客への拡販が寄与し、輸送容器のリース需要および輸送数量は増加いたしました。

コンテナ輸送事業につきましては、台風等の自然災害や北海道地区の脱線事故による貨物列車の運休の影響があったものの、生産活動の回復や野菜類の出荷も堅調に推移したため、輸送需要は増加いたしました。

この結果、当事業における売上高は3,481百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は25,911百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,796百万円減少いたしました。

流動資産は4,255百万円で、前連結会計年度末に比べ1,163百万円減少しておりますが、これは主に季節変動による受取手形及び売掛金の減少によるものであります。固定資産は21,655百万円となり、前連結会計年度末に比べ633百万円減少しております。これは減価償却の進捗による減少と投資有価証券の時価変動によるものであります。

負債は10,891百万円で、前連結会計年度末に比べ1,531百万円減少しております。これは季節変動による支払手形及び買掛金や厚生年金基金脱退損失引当金の減少によるものであります。純資産は15,020百万円となり、前連結会計年度末に比べ265百万円減少いたしました。これは四半期純利益の計上はしたものの配当金の支払、その他の包括利益累計額の減少による影響であります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.8%増加し、58.0%となりました。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ209百万円減少（前年同期213百万円減少）し、682百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金は、1,244百万円増加（前年同期1,545百万円増加）いたしました。これは主として税金等調整前当期純利益428百万円、減価償却費1,554百万円の計上および厚生年金基金脱退損失引当金の取崩しの減少260百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金は、612百万円減少（前年同期717百万円減少）いたしました。これは主としてタンク車、コンテナおよび土地等取得による支払1,145百万円、有形固定資産売却の増加547百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金は、841百万円減少（前年同期1,041百万円減少）いたしました。これは主としてファイナンス・リース債務の返済671百万円および配当金の支払132百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、欧州政府債務危機を背景とした海外経済の減速や長期化する円高に加え、日中関係の悪化など、景気動向に対する懸念要因も多く、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループを取り巻く物流業界におきましては、輸出や生産の伸び悩みにより、国内貨物輸送数量の減少が懸念されるなど、厳しい状況が続くものと予想されます。

このような状況のもと、当社グループは、石油製品需要全体の長期的な減退傾向が見込まれる厳しい事業環境にあるなか、LNG輸送や化成品輸送のさらなる強化を図ってまいります。加えて、鉄道輸送および自動車輸送をもつ企業グループとしての強みを最大限に生かし、顧客ニーズに迅速かつ的確な対応を図ることで、顧客から信頼され選択される物流パートナーを目指してまいります。また、安全・安心な輸送に向け、引き続き安全推進活動の強化や車両・コンテナの点検・整備体制の一層の充実に努め

るとともに、顧客ニーズに対応した新しい輸送容器や新規事業の開発にも、積極的に取り組んでまいります。

通期の連結業績予想につきましては、引き続き経済環境・景気動向への不安材料もあり、第3四半期以降の業績への影響も不透明な部分が多いことから、平成24年5月11日公表の業績予想値より変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	892	682
受取手形及び売掛金	3,843	2,837
その他	683	735
流動資産合計	5,419	4,255
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	4,620	4,506
コンテナ(純額)	2,482	2,479
土地	5,261	5,156
リース資産(純額)	3,817	3,675
その他(純額)	1,294	1,469
有形固定資産合計	17,476	17,286
無形固定資産		
のれん	11	—
無形固定資産合計	11	—
投資その他の資産		
投資有価証券	3,861	3,388
その他	939	980
投資その他の資産合計	4,800	4,368
固定資産合計	22,288	21,655
資産合計	27,708	25,911
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,132	1,372
短期借入金	527	489
未払法人税等	278	248
賞与引当金	555	536
役員賞与引当金	90	48
厚生年金基金脱退損失引当金	260	—
その他	2,776	2,653
流動負債合計	6,621	5,349
固定負債		
リース債務	2,605	2,454
退職給付引当金	2,460	2,532
修繕引当金	260	224
資産除去債務	24	—
その他	450	329
固定負債合計	5,801	5,541
負債合計	12,422	10,891

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,661	1,661
資本剰余金	290	290
利益剰余金	12,684	12,785
自己株式	△30	△30
株主資本合計	14,606	14,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	679	313
その他の包括利益累計額合計	679	313
純資産合計	15,285	15,020
負債純資産合計	27,708	25,911

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	14,969	14,316
売上原価	13,964	13,169
売上総利益	1,004	1,147
販売費及び一般管理費	979	998
営業利益	25	149
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	48	46
固定資産賃貸料	120	116
持分法による投資利益	8	34
雑収入	58	75
営業外収益合計	235	271
営業外費用		
支払利息	62	48
固定資産除売却損	13	21
固定資産賃貸費用	41	44
雑損失	5	4
営業外費用合計	122	119
経常利益	138	300
特別利益		
国庫補助金	1	9
固定資産売却益	—	103
補助金収入	20	39
災害損失引当金戻入額	50	—
受取保険金	70	—
その他	2	—
特別利益合計	144	152
特別損失		
固定資産圧縮損	1	8
投資有価証券評価損	—	7
減損損失	—	5
事務所移転費用	14	—
その他	2	2
特別損失合計	18	24
税金等調整前四半期純利益	264	428
法人税等	166	195
少数株主損益調整前四半期純利益	97	233
少数株主利益	—	—
四半期純利益	97	233

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	97	233
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△430	△362
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	△3
その他の包括利益合計	△434	△365
四半期包括利益	△337	△132
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△337	△132
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	264	428
減価償却費	1,725	1,554
減損損失	—	5
のれん償却額	14	11
固定資産除売却損益(△は益)	192	△103
災害損失引当金の増減額(△は減少)	△398	—
厚生年金基金脱退損失引当金の増減額(△は減少)	—	△260
売上債権の増減額(△は増加)	513	1,006
仕入債務の増減額(△は減少)	△361	△759
その他	△114	△353
小計	1,835	1,530
利息及び配当金の受取額	48	46
利息の支払額	△62	△49
法人税等の支払額	△275	△282
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,545	1,244
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△763	△1,145
有形固定資産の売却による収入	119	547
投資有価証券の増減額(△増加)	△18	△19
その他	△54	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△717	△612
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△10	△37
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△832	△671
配当金の支払額	△198	△132
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,041	△841
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△213	△209
現金及び現金同等物の期首残高	570	892
現金及び現金同等物の四半期末残高	356	682

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	石油輸送	高压ガス輸送	化成品・ コンテナ輸送	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,241	3,466	3,261	14,969	—	14,969
セグメント間の内部 売上高又は振替高	95	3	24	122	△122	—
計	8,336	3,469	3,285	15,091	△122	14,969
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	133	△125	17	25	—	25

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	石油輸送	高压ガス輸送	化成品・ コンテナ輸送	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,473	3,361	3,481	14,316	—	14,316
セグメント間の内部 売上高又は振替高	218	—	3	221	△221	—
計	7,691	3,361	3,484	14,538	△221	14,316
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	△0	△75	224	149	—	149

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。